

日本リハビリテーション病院・施設協会  
認知症対策検討委員会 会議議事録

【日時/場所】 H30年10月2日(火) 米子コンベンションセンター

【出席者】

田中 志子 内田病院

岡 光孝 西広島リハビリテーション病院

緒方 千代美 熊本託麻台リハビリテーション病院

小野塚 由美子 霞ヶ関南病院

砂川 直美 小倉リハビリテーション病院

中間 浩一 霞ヶ関南病院

小池 京子 内田病院

萩原 洋平 内田病院(書記)

敬称略

【議事内容】

今後の活動について

・認知症ケア加算の研修について

集客があまりうまくいかなかった。いろいろな団体が無料でやり始めていることもあり、ニーズも減っているので一旦終了とする。

・山上先生の論文が英語でアクセプトまで行った。現在出版待ちとなっている(受理日:2018.9.22)。

・認知症サポートチームの研修について

アンケートの結果も良く、今回参加いただいた病院・施設から口コミで広がり、需要も増えていくと考えられる。継続して「認知症サポートチーム養成研修会」を実施していく。

来年度2回実施予定で計画していく。

1回は大会(金沢)の前日を予定している。研修内容は今回同様だが、グループワークなどメンバーで役割分担して行っていく。

・研究について

認知症ケア加算のアンケートについては回収率が低い。(20~30%)

回答としては、加算1は人がいなくとれない。加算2はとりたい。

分析は協会誌に出せるようにする。

・フォローアップ研修について

認知症サポートチームを立ち上げて、動かない・動けないでいる実情があるので、具体的な方策が導き出せるような研修が必要になってくる。今後、フォローアップ研修の実施を検討する。成功事例を発表できる場を設け共有していく。

来年は認知症サポートチーム養成研修会を実施し、再来年はフォローアップ研修を計画していく。